

親の受験にしないために — 子どもの自立を支える「伴走」のしかた

帰国子女アカデミー 受験ディレクター
上野和香江 相談員



「どうすれば、言われなくても自分から勉強してくるのだろうか」。受験期を迎える多くの保護者が抱く悩みではないでしょうか。思うように勉強が進まない子どもの姿に、不安や焦りを感じることもあります。もちろん、合格は大切な目標です。しかし受験には、その結果だけでは測れない価値があります。うまくいかないときに方法を変えること、失敗から学び、もう一度挑戦すること。そうした試行錯誤の中で身につく「自ら学ぶ力」は、その先の人生でも子どもを支える財産になります。保護者に求められるのは、受験を代わりに行うことではなく、子どもが自分の足で進めるよう支える「伴走者」としての関わりです。

子どもが主体的に学ぶためには、「自分ならできそうだ」という感覚と、「自分で決めて取り組んでいる」という感覚が欠かせません。小さな成功は自信につながり、自分で選んだことには責任感も生まれます。反対に、勉強の内容や時間まで保護者が決めれば、学習は「やらされるもの」になります。一方、任せきりにすると、自立を促すことは難しくなります。大切なのは、「任せること」と「見守ること」のバランスです。

例えば週の初めに、子どもが主体となって親子で1週間の計画を立て、平日は実行を任せ、週末に振り返る。振り返る際は「全部終わった？」ではなく、「今週、一番できたようになったことは？」と問いかけ、成長として捉えやすくなります。実行を任せている間も必要以上に管理せず、子どもが自分で考えられる声かけを意識します。「宿題はやったの？」ではなく、「今日はどこまで進める予定ですか？」と、進める予定を聞いてみることも有効です。

子どもが自分から学習に向かいやすくなるよう、生活や学習環境を整えることを決め、必要な道具をすぐ使えるようにするほか、家族で静かに過ごす時間をつくるのも一つの方法です。スマートフォンやSNSに決めるのではなく、親子で納得できる使い方を話し合います。

こうした環境づくりと対話を重ねることで、自分で考えて行動する習慣が身についていきます。

また、結果だけでなく、そこに至る過程を見ることが、子どもの成長を支える重要なポイントです。子どもが「頑張ったね」だけでなく、「間違えたところを自分で見直したね」「昨日できなかった問題にもう一度挑戦したね」と、具体的な行動を認めます。思うような結果が出なかったときも、「どうしてできなかったの？」と責めるのではなく、「次は何を覚えてみようか」と一緒に考える。失敗を次へ進むための材料として扱う経験が、粘り強さを育てます。

そのためには、子どもが「できなかった」「不安だ」と安心して言える環境が欠かせません。「今日はどうだった？」「何か心配なことはあるの？」と日々声をかけ、その言葉を受け止める。疲れているときには、あえて休むことを選ぶのも伴走の一つです。

受験は、人生のゴールではなく一つの通過点です。「なぜ学ぶのか」「自分は何を目標にしたいのか」を、子どもが自分の言葉で考えられるようになることが、その後も自ら学び続ける力になります。保護者が学ぶことと挑戦したりする姿を見せることも、「学ぶことは面白い」と伝える身近な方法です。

親が先頭に立つて走るのではなく、少し隣を走りながら、必要なときに手を差し伸べる。そんな関わりが、子どもが主役となって受験を乗り越え、その先へ進む力を支えていきます。

本欄への相談は

●帰国子女アカデミー
Tel: 81-3-3723-2380
www.kikokushijoacademy.com
contact@kikokushijoacademy.com

プリンス頓日本語学校 幼稚園部 スイカ割り和水遊び



プリンス頓日本語学校幼稚園部(和田幸子幼稚園園長)では、8月23日、夏の恒例イベント「スイカ割り和水遊び」を開催しました。スイカ割りでは、クラスごとに大きなスイカを用意。園児たちは目隠しをす

「前!」「もう少し右!」「そこ!」という元気な声を頼りに、一歩ずつスイカへ近づいた。初めは少し緊張した表情を見せる園児もいたが、力いっぱいバットを振り下ろすと、たちまち笑顔になった。

何度か挑戦を重ねるうちに、スイカには少しずつ亀裂が入った。赤組は保護者の力を借りることなく、園児たちだけで見事にスイカを割ることに成功。中から真っ赤な実が見えると、大きな歓声が上がった。割れたスイカはみんなでおいしく味わった。とても大きなスイカだったため、おかわりを楽しむ園児もあり、自分たちで割った夏の味を口いっぱい頬張った。

スイカを楽しんだ後は、おもちゃの魚を使った金魚すくいやシャボン玉、水鉄砲遊びを満喫した。水鉄砲では園児たちが先生を狙って一斉に水を発射し、先生たちも負けじと応戦。初めは水にぬれることを心配していた子どもたちも、最後にはびしょ濡れになりながら夢中で遊んだ。

園児たちの元気な歓声と笑顔があふれる、楽しい夏のひとときとなった。

日本の大学 進学フェア

10月3日にNYで開催

10月3日(土)午後2時30分
分からは4時30分まで

在外教育シンポジウム 13日に日本クラブで開催

在外教育シンポジウムが13日(日)午前10時から12時30分まで、日本クラブ(五番街604番地)で開催される。海外の在外教育施設は長年、在外邦人子女の日本語と日本文化の基礎を提

に、日本の大学が帰国生に求めるニーズも高まっている。シンポジウムを通じて、今後求められるグローバル人材像を探るとともに、海外という特性を活かした在外教育施設での取り組み、さらには現地エグゼクティブを交えた議論を行う。基調講演に在NY総領事

広尾学園

HIROO GAKUEN Junior & Senior High School

インターナショナルコース / 医進サイエンスコース / 本科コース

広尾学園は、学校教育法の「一条校」です。海外帰国子女受け入れ指定校第1号として国際化する教育のニーズに応えてきました。トップレベルの英語教育の研究・実践で国内・海外での進学実績を伸ばしています。

ウェブサイト: <http://www.hiroogakuen.ed.jp/>
お問い合わせ: kokusai@hiroogakuen.ed.jp (国際担当: 岩崎)
〒106-0047 東京都港区南麻布5-1-14 • 東京メトロ日比谷線広尾駅徒歩1分

aozora COMMUNITY

プリスクール アフタースクール 日本語クラスK-8

サマーキャンプ デイキャンプ 春キャンプ 冬キャンプ

あおぞらコミュニティ
info@aozoracommunity.org
www.aozoracommunity.org

クリントンヒル校
535 Clinton Ave, Brooklyn
347-721-3521

プロスペクトハイツ校
238 St Marks Ave, Brooklyn
929-624-2287

英語は読めるのに 話す・聞くが苦手な方へ

発音が変わると
英語は自然に通じ始めます

※今すぐ受け取れる
無料
発音が変わる
特別教材

ニューヨーク日本人学校

初等部・中等部・特別支援学級

文部科学省派遣教員による、
一人一人を大切に丁寧な指導をします。

過去3年間の高校入試合格実績 (一部抜粋・順不同)

公立高校	筑波大学附属高等学校 東京学芸大学附属高等学校 東京都立 日比谷高等学校 東京都立 西高等学校
私立高校	青山学院高等部 市川高等学校 同志社国際高等学校 開成高等学校 慶応義塾高等学校 慶応義塾志木高等学校 慶応義塾湘南藤沢高等部 慶応義塾女子高等学校 宝仙学園高等学校 関西学院高等部 灘高等学校 早稲田実業学校高等部 早稲田大学高等学院 早稲田大学本庄高等学院 学習院女子高等科 東大寺学園高等学校 国際基督教大学高等学校 栄東高等学校 渋谷教育学園幕張高等学校 中央大学杉並高等学校 ラ・サール高等学校

見学・入学 随時受付中 Tel: 203-629-9039
E-mail: gwjs@gwjs.org www.gwjs.org